

令和4年 **7**月の大阪森林便り



今月の木の話 **サクラの名歌, 名花に酔う**

●盛岡石割ザクラ（岩手県盛岡市）

*盛岡地方裁判所の前庭、巨大な花崗岩の割れ目に生き続けているヒガンザクラ。

*推定樹齢 370 年、4 月下旬開花。盛岡の名物桜。

●伊佐沢の久保ザクラ（山形県長井市）

*主幹の幹回りは 8M を超しますが、中はほとんど空洞。毎年開花。老衰状態が心配。

●馬場ザクラ（福島県大玉村）

*玉の井神社と虚空蔵堂の間に生存するエドヒガン。

*幹回り 7.5M、樹高 21M の巨樹。

●中将姫誓願ザクラ（岐阜県岐阜市）

*願成寺本堂前にあり、樹高 8M。ヤマザクラの古木。

*中将姫が奈良の当麻寺からこの寺へ来たときに植えたといわれます。

（2008 年発刊（社）大阪府木材連合会・大阪木材仲買協同組合発行「天然記念物 巨樹・古木」より抜粋・引用）





カナダ産木材 2割安 7~9月

2 四半期ぶり下落 対日価格 米国相場の急落波及

*カナダ産木材の対日価格が2 四半期ぶりに下落。

・製材品の7~9月期の価格は4~6月期に比べて2割の大幅安。

・米国で長期金利の上昇を背景に住宅投資が減少し、現地の製材品価格が下落した影響。

*カナダ西部内陸産SPFの7~9月期の日本向け規格価格は、4~6月期より2割安く、2 四半期ぶりに値下がり。

*カナダ産は日本の木材輸入量の2割を占めます。

*米国で長期金利が上昇。住宅ローン金利が急騰し、消費者の住宅購入意欲を減退。

・米国の5月の住宅着工件数は、前月から14.4%減。

*7~9月期の対日価格の下落には、米国相場が軟化したことに加え、日本国内の戸建て市場の減速という背景も。

*半導体など部品の不足を受けてユニットバスやトイレなどが設置できないケースも多く、建てたくても建てられない状況。

*製材品の対日価格は下落したものの、急速な為替の円安進行で輸入コストはなお上昇。

(2022年6月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

